

これを書いている頃は雨の季節は少し先ですが、本日は雨過天晴の通りの五月晴れです。日差しはますます夏のような様相を呈しています。

さて、いつもは病院の中の話ばかりなので、天気も良いので外の話にしてみましょう。当院がある横浜市は意外に広く、地域によって様子が異なります。戸塚区ははずれの原宿地区（以前に一人だけ原宿駅に降り立って「病院どこ？」と迷っていた人を知っています）に位置しているため、かなりのんびりとした場所だと思います。

市全体が実は丘陵地で高低差が多いように感じますが、当院も標高はおおよそ50mくらいにあります。赴任してからいつも感じるのですが、風通しが良いのか、いつも風が吹いているような気がします。古くからある大きな木がまだ少し残っていて、その梢が揺れているのをよく見かけます。

研修医の先生が多く住んでいる借り上げ宿舎は、国道1号線を渡った向こうにあります。交通量の多い道路なので、住む部屋によっては地響きで揺れるとか。1号線はもともと東海道ですが、戸塚の次は藤沢宿で、どちらも川沿いに位置しているため、上って下ってと、大変だったのではないのでしょうか。

借り上げ宿舎は以前の敷地内にあった寮よりもきれいになりました。キッチンは一応きちんとした料理ができると聞いています。でも作る気力が残っていると、いないとか。忙しい人には圧力鍋がおすすめですが、結構場所をとりますね。



食材は近くに1つスーパーがあります。地元の農協が運営しているため、地元産の野菜を販売しています。病院の北側にも以前はスーパーがありましたが、ちょっと遠くに移転してしまいました。病院の裏手から急に下り坂になり、「深谷」という地名になりますが、その辺りにはホームセンターもあります。原宿より充実しているので少し不思議な感じがします。時間があれば、郷土史でも勉強しようかしら。

救急入り口に、夏空と巣立った後のツバメの巣があります。